

## 令和5年度 第3回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日 時：令和6年3月12日（火） 10時00分～

場 所：湖西市役所防災センター2階

出席者：14人

会長	山本 一敏	湖西市 副市長
副会長	小倉 英昭	湖西市 都市整備部長
座長	杉木 直	豊橋技術科学大学 准教授
委員	大久保 公雄	浜松バス株式会社 代表取締役社長
委員	榊原 正之	遠鉄タクシー株式会社 取締役運行営業部長
委員	有友 和浩 (代理：井口 一博)	天竜浜名湖鉄道株式会社 常務取締役
委員	堀内 哲郎	(社)静岡県バス協会 専務理事
委員	新垣 賀規	遠鉄タクシー(株) 労働組合 執行委員長
委員	増田 秀典	中部運輸局 静岡運輸支局 首席運輸企画専門官
委員	平野 隆広 (代理：山本 あす香)	静岡県 交通基盤部 地域交通課長
委員	安田 剛 (代理：小野間 健治)	静岡県 浜松土木事務所 維持管理課長
委員	藤田 悟吏	静岡県湖西警察署 交通課長
委員	板倉 福男	湖西市自治会連合会 会長
委員	木本 政博	湖西市老人クラブ連合会 会長
委員	森 宣雄 (欠席)	湖西市社会福祉協議会 会長
事務局	匂坂 隆拓	湖西市 都市整備部 都市計画課長
事務局	杉山 充宏	湖西市 都市整備部 都市計画課 課長代理
事務局	山下 祐介	湖西市都市整備部 都市計画課 主査
事務局	榊原 徹	湖西市都市整備部 都市計画課 主任

資料No.	配付資料タイトル
1	令和5年度湖西市企業シャトル BaaS 実証事業の状況報告
1-参考	豊橋市地域公共交通活性化推進協議会_企業シャトル BaaS 社会実験実績報告
3	令和6年度湖西市地域公共交通会議予算書
3-1	令和5年度湖西市地域公共交通会議予算書
3-2	令和6年度湖西市地域公共交通会議事業計画
4	湖西市における公共交通の令和6年度運行改正について

## 1 開会

## 2 会長挨拶

本日は年度末のお忙しい中、湖西市地域公共交通会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。また、委員の皆様におかれましては、日頃から市の公共交通行政に対しご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、最近話題のライドシェアについてですが、制度改正等の動きが早くなってきております。各自治体におきましても、様々な計画が打ち出されており、4月以降全国各地で実証実験等が始まることとなっております。本市としましても、乗り遅れることなく、ライドシェアについて検討を続けていこうと考えております。前回の会議時にもお伝えしましたが、浜松市・磐田市及び遠鉄グループ様の4者で、「持続可能な地域公共交通」についての勉強会を行っております。現在考えているライドシェアの形は、海外のようなライドシェアではなく、日本版ライドシェアとして、タクシー・バス事業者様の抱える課題等をどう克服していけばいいのかを検討し、運行事業者様が手の届かないところを、自治体がライドシェアとして補うという形を目指しております。あくまで“共存共栄”で進めていきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたく考えております。

本日は、湖西市企業シャトル BaaS 実証実験についてなどの報告事項が1件、来年度の公共交通会議予算案についての協議事項が1件ございます。また、令和6年度湖西市の公共交通の運行改正についてご討議をいただく予定です。

委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、今後の本市の地域公共交通の改善に活かしていきたいと考えておりますので、本日はどうぞよろしく申し上げます。

## 3 報告事項

### (1) 令和5年度湖西市企業シャトル BaaS 実証事業の状況報告

<事務局>

- 資料説明（資料1）

<座長>

- 今年度の市公式LINE経由での予約システムの利用状況はどのくらいか。

<事務局>

- 肌感覚ですが、今年度予約システムに新たに電子決済機能を追加している影響もあり、昨年度よりも増えていると思われれます。

<座長>

- 来年度予約なしの運行を検討しているということだが、利用者の視点では嬉しい話ではあると思うが、運行協力企業に負担をかけ過ぎない持続可能な形で進められるよう運行企業とよく調整してほしい。

<木本委員>

- アンケートの対象者を教えてほしい。

<座長>

- アンケートについてお手伝いしているため、私から説明する。対象は、BaaS 運行ルートの徒歩圏内にお住いの世帯の方である。また、高齢者だけではなく、若年層も含めて意見聴取しているた

め、今回の結果を年齢別でさらに分析してみたいと考えている。

- 9ページの「運行経費①」の中に運行協力企業の負担金額も含まれているか。

<事務局>

- 含まれていません。延伸分の燃料費やBaaSとして運行いただいた保険料等の市が負担している額のみになります。

<座長>

- 運行企業が負担している金額がわかれば、市の負担額との割合を比較する等、別の視点からの評価もできると思うため、検討いただきたい。

## 4 協議事項

### (1) 湖西市地域公共交通会議令和6年度の予算案及び事業計画について

<事務局>

- 資料説明（資料3）

<座長>

- 歳入の豊橋市からの負担金が令和5年度よりも増えており、私が聞いている話だと4月運行からの年間分で計上しているということだが、10月からの社会実装となった場合、金額が減ると思うがその点はいかがか。

<事務局>

- おっしゃる通り金額が減ることになります。その場合、運行開始時期などの実績に応じて豊橋市さんにご負担いただくことになります。

<座長>

- あくまで予算案として計上している金額だと思うが、今後豊橋市とよく調整してもらいたい。
- 協議事項(1)「湖西市地域公共交通会議令和6年度の予算案及び事業計画について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

## 5 討議事項

### (1) 湖西市における公共交通の令和6年度運行改正について

<事務局>

- 資料説明（資料4）

<榊原委員>

- 7ページのコーちゃんタクシーの弱みについて、「大量輸送に不向き（最大4人乗り）」とあるが、現状の平均乗合率は約1.3と最大4人が乗ることは現状稀であるため、弱みとして捉えるのはどうなのかなと考える。また、「車両の供給台数に制限」とあるが、現状コーちゃんタクシーを上限8台としているが、実際の利用については00分台、30分台で出発時間を地区別で分けて運行しており、両方合わせてもコーちゃんタクシーとして同じ時間に運行する台数は多くて4台で、ま

だまだ供給可能である。来年度コーちゃんタクシーの市内全域化の案が出ているが、当社としては特別な障壁がないと考えている。

<座長>

- 時間帯別の利用者の偏りはどのような状況か。

<榊原委員>

- 午前中の9時00分～11時00分に山があり、9時00分、9時30分、10時00分がピークになっていると記憶している。

<座長>

- 今回エリア拡大を予定している地域がJR駅周辺で、今までよりも人口密度が高く、利用可能となる対象者が増えることになる。その場合、集中する時間帯において、車両の供給限界を超える可能性も懸念されるがこの点はいかがか。

<榊原委員>

- JR駅周辺にお住まいの方の平均年齢が若いという点、この地域の方の行き先はおそらく湖西病院などの近隣の病院と想定される点等を考慮すると、供給限界を超えるということはないと考えている。また、駅周辺に向かってくる車両が多いため、ダイヤ次第では折り返し運行などの効率的な運用ができる可能性もあると考えている。

<座長>

- 今回拡大する地域はコーちゃんバスもよく運行する地域のため、コーちゃんバスとコーちゃんタクシーを棲み分けし、コーちゃんバスを補完する形でコーちゃんタクシーがうまく機能してくれればよいと思う。

<木本委員>

- 案②について、今までの利用していた時間で移動ができなくなったり、乗り継ぎを待つ間に不慮の事故が起こったりといったことがないようにしてもらいたい。また、色々な意見が出ると思うが、地元説明をしっかりとっていただきたい。いずれにしても利用データをしっかりと分析いただき、改正したことで困る人がたくさん出るということのないようにしていただきたい。

<座長>

- バス停毎の乗車人数の分析はあるが、どこで乗ってどこで降りたかのOD調査はした方がいいと思う。乗り継ぎポイントのバス停を跨がない区内での利用が多いのであれば、案②も一つの選択肢だと思うが、乗り継ぎポイントのバス停を超えた利用が多い場合、乗り継がないと移動ができなくなる人が増えるのであれば、乗り継ぎ移動が増える改正は避けた方が良く考える。
- 岡崎循環線は廃止の方向性だと思うが、コーちゃんバスのなくなる空白地をBaaSの協力企業であるプライムアースEVエナジー様の運行でカバーできる可能性があるため、是非プライムアースEVエナジー様と相談して進めてもらえればと思う。

<新垣委員>

- 乗り継ぐことで運賃が倍かかるのか。

<事務局>

- 乗り継ぎが片道2回までなら1乗車分の料金(200円)のみで乗車できます。

<小野間氏>

- 免許返納者への優遇措置の検討について、今回の案で「元々免許証を未所持の方かつ75歳以上の方」も対象とするということだが、高齢者に限らず全体的な利用者数を増やすような要素があってもいいと思う。例えば、学童に対する助成があれば、児童が高齢者と一緒に移動することが増えたり、学区を跨いだ移動をすることで他校との交流の場が増えたり、といった効果もあるかと思う。高齢者に限らず、全体的な利用促進案を検討してもいいのではないか。

<事務局>

- ご提案ありがとうございます。幅広い年齢層に対する利用促進案についても一度検討してみます。

<増田委員>

- 免許返納者への優遇措置の検討について、色々なデータを検証し、安心して免許返納ができるような環境づくりを今後も進めてもらいたい。

<山本氏>

- 案②の乗継&便数強化型のようなルートは、他市町村であまり見たことがなく斬新だと思うが、現状の乗継率が約4%と説明にもあったが、周知が重要になると考える。新たな周知は検討するのか。

<事務局>

- 路線の改正と併せて、今後検討していきたいと思います。

<座長>

- 免許返納者への優遇措置を見直す場合、2年間無料乗車券の有効期限が切れた方へのPRは重要だと思う。また、無料券の有効期限が切れた方が現在どのような手段で移動しているのかは非常に気になる部分である。もしかすると、外出できなくなってしまうという可能性がある。また、移動に困るだけでなく、健康上の影響や社会的なコストの観点で見たときに、医療費など別のコストがかかっている可能性も考えられる。高齢者の外出機会を作るという意味での永年半額という見直し案について、私は賛成する。
- コーちゃんタクシーについては、現状から変更なしの申請から2年間半額のままか。

<事務局>

- 記載している案としてはその通りです。今後コーちゃんタクシーの利用が増えた際、永年半額とした場合の市の負担額について、まだ予測しきれない部分があるため、まずはコーちゃんバスの永年半額とコーちゃんタクシーの利用可能エリアの拡大を行っていきたいと考えています。

<座長>

- 今回委員の皆様から様々な意見をいただいた。事務局は、これらの意見を踏まえて、引き続き検討をお願いしたい。

## 6 その他

## 7 閉会

<事務局>

- 以上をもって、令和5年度第3回湖西市地域公共交通会議を終了とします。

以上